

No. 159

令和6年4月25日
宮城県七ヶ浜町議会

しちがはま

議会だより

野球しようぜ!



特集 令和6年度予算

いつ起こるか分からない災害に 2

議案 介護保険条例の
一部を改正 など 13

町政を問う 少子化対策は など
9人が一般質問 16

委員会レポート
議員定数や議員報酬を学ぶ 26

分からない災害に

3月
会議

令和6年定例会3月会議を3月1日から3月15日までの会期で開催しました。6年度当初予算は、これまでも取り組んできた6つの政策軸をより推進させるための予算編成となっています。5年度補正予算や条例の一部改正など33件の議案などを審議し、議員提出議案1件以外は原案の通り可決しました。(14頁参照) 一般質問は9人の議員が町の対応や考えをいただきました。

充実した備蓄品へ 災害用備蓄食料等購入代 311万円



大規模自然災害への備えは、十分でしょうか。

今回、町でも備蓄品を補充したものの、家庭や職場で備えておきたいものですね。町の避難所運営マニュアルには「東日本大震災では、家の被害がなくても、食料不足から避難所に食料を求める方がいました。避難所は、避難を必要とする方の施設ですので、基本的には避難者への食料が優先です。ただし、支援物資が届き始めるなど、支援ができる状態になった場合は、可能な範囲で支援を行ってください」とあります。やはり家族分の食料や水などは、ある程度各自で備蓄しておかなければいけませんね。実際にどんなものを備蓄しておくといいのでしょうか。改めて備蓄品を見直してみませんか。

家庭備蓄の例(1週間分/大人2人の場合)

○必需品

- ・水 2L×6本×4箱
- ・カセットコンロ・カセットボンベ×12本

○主食

- ・米 2kg×2袋
- ・乾麺
- ・カップ麺類×6個
- ・パックごはん×6個

○主菜

- ・レトルト食品
- ・缶詰

○副菜(その他)

- ・日持ちする野菜類
- ・調味料
- ・梅干し、のり、乾燥わかめ など



農水省HPをチェック!

赤ちゃんや高齢者をはじめ配慮が必要な方のための食品や日用品備蓄も始めたいですね!



ローリングストックで上手に備蓄

みんなの声



もがみ まこと
最上 真実さん

衛生面が心配なので、簡易トイレを備蓄したいと思います。コンタクトレンズが流されてしまった時のことを考えて、常にメガネも持ち歩くようにすると安心かと思います。

みんなの声



めめざわ はるな
目々澤 遥奈さん

性別や年齢が違っていると必要な備蓄品も変わってくると思います。女性や若い世代の意見を反映した備蓄品があると嬉しいです。

令和6年度
一般会計当初予算
72億300万円
(前年度比700万円減)

いつ起こるか

生涯学習センターへの徒歩避難経路確保へ

吉田浜野山避難路伐開・除草業務委託料 42万円
吉田浜野山避難路設計業務委託料 219万円



昔の「けもの道」復活?!



最短距離で避難できますね



津波災害時を想定した徒歩避難者の避難経路確保のため生涯学習センターへの避難路の整備事業が始まります。

Q) 設置場所は?

A) 菖蒲田浜横断線の笹山に曲がる入り口から、生涯学習センターへ向かって通路を設置予定です。

Q) 長さや距離はどれくらい?

A) 避難路の長さは約60mほどです。現在は生涯学習センターまで600m以上かかりますが、まっすぐ行くと300mほどで行けるようになります。

Q) 階段にするの、それとも車いすでも通れるようにスロープにするの?手すりは付けるの?

A) 最初に樹木を伐採し、状況を見極め、設計を行います。伐開する幅は、4mを予定しています。手すりは付けたいと考えています。

みんなの声



くろさわ はやと
黒澤 颯翔さん

通学している時に低い場所が多いので、避難経路ができるのは安心です。生涯学習センターにもよく行くので、普段からも利用したいと思います。

新たに避難誘導標識設置へ

避難所誘導標識設置工事 202万円



津波避難場所などの方向や距離を示す「避難誘導標識」が新たに6区域に設置されます。万一の津波災害に備え、確認しておきたいですね。

設置箇所

菖蒲田浜横断線

菖蒲田浜

松ヶ浜

湊浜

遠山

要害



電柱に設置される予定です

町へ！独自策は？！

単位:人

年度別出生数

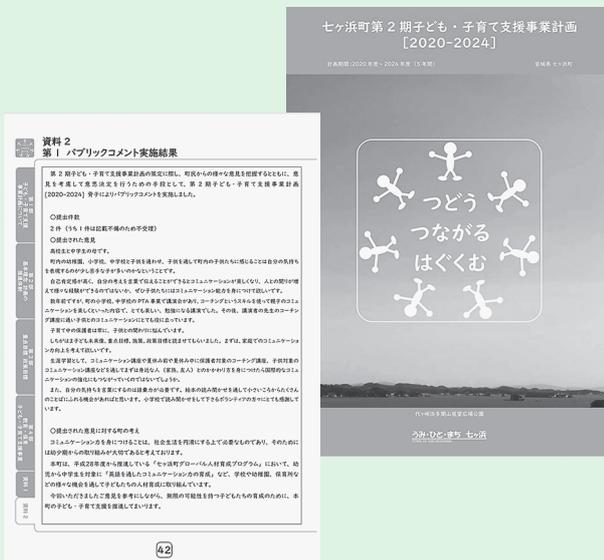
H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 R6年3月31日時点
93	86	79	111	83	83	67	77	66

本町の人口は、2035年には15,000人を割り込み、2050年には11,250人まで減少する見込みとされています。(国立社会保障・人口問題研究所の推計による)

5年度の出生数は6年3月31日時点で66人と、平成27年度には93人だった出生数に比べ27人も減っています。児童生徒数が減少している今、学校や部活の在り方など、真剣に考えなければいけない岐路に立たされています。

現状は？ 今後は？ 町独自の特色ある支援や教育はあるのでしょうか。

第3期子ども・子育て支援事業計画 策定支援業務委託料 400万円



たくさんの町民の意見を吸い上げて策定してほしい

7年度からの5か年計画(2025年度~2029年度)を策定

Q) 第2期計画にはパブリックコメントが実質1件でしたが、もっとたくさんの町民の声を聞かないのですか？

A) 今後、計画策定していくなかで、工夫しながら周知をしていきたいと思ひます。

小学校入学祝金支給事業 (県補助事業) 75万円

小学校に入学する児童1人につき、各市町村が定めた祝金や入学用品等が支給されています。支給される金額や対象児童は市町村によって異なっています。

◆七ヶ浜町
多子世帯の負担軽減のために第3子以降のみに小学校入学時3万円のお祝い金を支給

◆丸森町
第1子から小学校入学時3万円のお祝い金を支給

Q) 子育て支援を本気で取り組むのであれば、町独自で金額の上乗せなどは検討しないのですか？

A) 他の事業との整合性などを整理して検証し、財源等が見つかれば検討していきたいと思ひます。

みんなの声



たなべいこさん、うかさん、
田邊郁子さん、宇叶さん、
しんごさん、
希叶さん、真吾さん、
ふくのすけさん、はるのすけさん、
福之助さん、暖之助さん

入学祝金の件は今まで知りませんでした。他市町の祝金を検索してみたら、手厚い支援をしている町もありますので、第一子から支援してもらえると本当に助かると思ひます。

転入してきたくなる

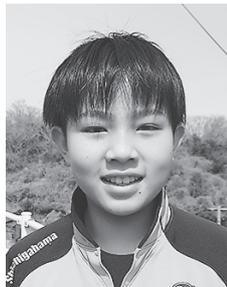
七ヶ浜・グローバルプロジェクト

英語検定受験者費用補助 57万円 (小学校20万円・中学校37万円)

小学校:6年生児童1人につき年1回5級受験料補助
中学生:生徒1人につき年1回3級以上受験料補助

- Q) 英検の補助事業は助かっていますが、合格者を増やす取り組みは?
- A) 今年力を入れていくのは、読む、語彙、それから文法事項を5年生から入れていくことにしています。カリキュラムは英語コミュニケーション推進委員会で英語教諭を中心に組み直しています。

みんなの声



ふくやま なおき
福山 直樹さん

中学生なので、文法は簡単に説明するだけではなく、どうしてこうなのか、こうなるのか、もっと詳しく説明してもらいたいです。

外国語指導助手派遣事業 1016万円

ALT (外国語指導助手) 4名が、小中学校で英語コミュニケーションの授業における指導など、英語コミュニケーション力の育成につながるプログラムを行っています。授業づくりと実践はALTと担任によるチームティーチングで行っています。

- Q) 「七ヶ浜5ラウンドシステム」による指導方法のブラッシュアップにより、小学校からの英語コミュニケーション力の育成と継続と高校受験等も見据えた「書く力」や「読む力」の向上を図るため、文法力や語彙力の強化に取り組むとのことですが、具体的に何をどう進めるのですか? ICT機器も活用していくのですか?
- A) 基本的には中学校の英語教諭を中心に検討しています。ICT機器は使う場面もあるし、使わなくてもいいところは使わないなど柔軟に考えています。
- Q) 以前は少人数クラスがありましたが、これからはどうなりますか?
- A) 英語だけではなく体育技能教科も含めて、全ての教科においてできていません。国が打ち出しているのは個別最適化ですが、予算が全くついていないのが現状で、学校はそれぞれ工夫しながら進めています。

中体連参加補助金(郡・県) 100万円

部活動の地域移行や地域連携(※)も進めなければいけない時代背景もあり、6年度からは、部活動が任意加入となります。色々なことが変更になっている今、生徒達をどう応援できるのか、考えたいものです。

- Q) 6年度の新人戦から、塩竈市や多賀城市、宮城郡、富谷黒川地区が一緒になり、仙台北地区中学校体育連盟として、開催されます。移動距離・範囲も例年以上になります。今までと同額で計上されています。十分ですか?
- A) 6年度では増やさない考えですが、7年度に向けて金額の変更等も視野に入れ、検討していきたいと思えます。

(※)地域移行とは、これまで学校が主体となってきた部活動を新たに地域が主体となって活動する地域クラブ活動に移行することです。また、地域連携とは学校の部活動において部活動指導員等を活用することや部員が少ない学校間で合同練習を行うことなどです。

学校再編検討委員会講師謝金 10万円

町としてどういった学校の在り方、統合も含め、望ましいのかということをもふまえた上で、講師を呼んで勉強していくための講師謝金です。

- Q) 誰のための勉強会ですか?教育委員会や教育総務課職員向けですか?たくさんの人に関わる問題なので町民も参加できますか?
- A) 具体的にまだ決まっていません。6年度にどういった講師を呼ぶかも含めながら検討していきます。

みんなの声



あかま だいじ
赤間 大慈さん

専門家の意見も大切だと思いますが、町民、特にこれから子育てをする世代の意見を取り入れた形で検討して欲しいです。

予算 審査



熊谷 明美
副委員長



仁田 秀和
委員長

令和6年度の各種会計予算審査は、特別委員会を設置して3月2日から3月14日までの日程で行いました。

担当課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答や総括質疑により慎重に審査しました。

その後、討論・採決の結果、全会計の予算を可決しました。

主な内容を要約してお知らせします。

どのように使うのか

各課審査で質疑応答

防災対策室	<p>避難対策事業は (42万円)</p> <p>問 避難路新設工事の内容は。 答 徒歩避難を想定し、横断笹山地区から中央公民館に向かって通路を伐開整備する予定である。</p> <p>災害備蓄食料は (311万円)</p> <p>問 賞味期限が切れそうな粉ミルクなどの扱いは。 答 保育所等に配布している。</p>	総務課
<p>職員研修負担金は (23万円)</p> <p>問 4月から新たにDX推進室が設置されるが、デジタル関係の職員研修の実施方法は。 答 富谷市にデジタル化推進の研修を行っている市町村研修所があり、活用を考えている。</p>	<p>ストレスチェックは (30万円)</p> <p>問 ストレスチェックの内容は。 答 全職員に対して、心理的な負担を把握するための検査等を行い、健康維持に努めている。</p>	

国際課	<p>国際交流推進事業は (600万円)</p> <p>問 以前より負担額が大きいが、10名に満たない場合は。 答 為替や運賃、物価高騰の影響があり負担が大きくなっている。10名に満たなくても再募集せず実施する予定である。</p>	国際村
<p>文化芸術創造事業は (2000万円)</p> <p>問 6年度の予定事業は。 答 7月にプロジェクトシンポジウムを使用したエンターテインメント集団、白Aの公演を予定している。</p>	<p>問 7月下旬から8月上旬を予定している。 答 期間や対象などは。</p>	



異なる文化理解の促進

政策課	<p>公共交通ネットワーク形成事業は (8880万円)</p> <p>問 65歳以上の免許返納者に対して2年目以降の無料化は協議したのか。また、町民からの要望や、1年間無料化の事業評価などはどのように反映されたか。 答 運転免許を取得していない方との公平性も考えなければいけない。今後その点も含めて調査していきたい。</p>	
<p>DX推進計画は (0円)</p> <p>問 5年度の成果と6年度の実施計画は。 答 5年度は動画配信開始や、町ホームページの小規模リニューアル、個別避難計画の支援システム導入、スマホ教室を実施し約345人の参加があった。</p>	<p>問 6年度は戸籍システムの標準化や共通化に向けての業務、チャットGPTの勉強会、セキュリティ対策に関する職員研修、施設予約システム導入によるオンライン化、議会へのタブレット導入によるペーパーレス化に取り組む。</p>	

健康福祉課

心の健康づくり講演会は
(24万円)

問 事業の対象者は。
答 6年度は七ヶ浜中学校と向洋中学校で各1回実施する予定である。学年等は新年度になつてから、学校関係者と打ち合わせをして決めていきたい。



心の健康づくり講演会

脳検診受診助成金は
(570万円)

問 40歳〜70歳まで5歳ごとに対象となつているが、事業の詳細は。
答 対象年齢は40歳から70歳までの5歳ごとを予定している。助成金額は上限を1万円とし、実際にかかった費用と比較し、低い方を助成する事業である。周知方法は、対象者へ郵送、広報やホームページへの掲載にて周知していきたい。

長寿社会課

人権相談事業は
(54万円)

問 人権相談事業は。
答 法務省から委託を受けて実施する人権相談の啓発事業として、ブラインドスポーツの体験を予定している。

また、児童が協力し合いながら植えた花を育て、その成長を観察しながら思いやりの心を身につけてもらう人権の花運動を予定している。対象者は、町内3小学校としている。

敬老会記念品は
(154万円)

問 敬老会記念品の内容と配布方法は。
答 地区の方や婦人会の方に協力してもらい、対象の75歳以上の方への配布を予定している。記念品の内容は決まっていない。



町民生活課

地球温暖化対策
実行計画推進事業は
(0円)

問 二酸化炭素排出量削減に向けた事業内容は。
答 排出量が14.9%減少できた。平成25年度比で令和4年度の実績は35.2%削減できた。

ゴミ収集減量事業は
(23万円)

問 リサイクル等に関する研修の対象と内容は。
答 ゴミの出し方に関する社会の勉強が4年生から入る。出前講座も対象にしており、これからリサイクルの重要性の話をしていく。

問 周知は。
答 プラスチック資源の回収は4月から始まる。新しい分別方法のチラシを全戸配布している。個別の問い合わせも想定している。



建設課

長須賀多目的広場の
管理運営は
(743万円)

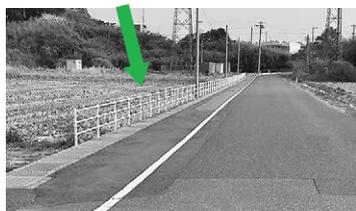
問 広場の利用促進策は。また、広場を貸し出す際の基準は。
答 遊びに来たいと思うような環境を整えたい。SNSで週1回周知していく。産業課と連携していく。また、基本的には広場利用で禁止されていることを行うような団体はお断りしているが、広場を占有する場合は公園の使用申請を頂くことになる。

町道整備工事は
(1億1045万円)

問 中田から菖蒲田浜の公営住宅に抜ける歩車道を通学路にするための工事内容は。(8ページ参照)
答 歩車道境界ブロックやデリネーターを設置するものである。



デリネーター



通学路の指定に向けて

子ども未来課

産婦健診事業は

(196万円)

問 新たにダイサービスタ型事業を開始することだが内容は。

答 産後の心身の負担軽減を図るため、相談事業などを通所型として実施するものである。

遠山保育所は

(4601万円)

問 定員90名に対して71名でスタートとのことである。受け入れ体制は十分か。

答 新しく民間の保育園もできたこともあり、受け入れ体制は十分と認識している。



待機児童ゼロでスタート

生涯学習課

トライアスロン

大会補助金は

(60万円)

問 トライアスロン実行委員会への補助金が増額している理由は。また、町の関わり方は。

答 6年度が30回記念大会となるため、15万円増額した。県のトライアスロン協会が事務局となり、町も加わった実行委員会が運営している。

アクアリーナの運営は

(1億4166万円)

問 アクアスタジオの利用状況やアクアリーナ全体の利用促進の考えは。

答 アクアスタジオは1月末時点で、1323名の利用がある。全体としての利用状況を見ると、リピーターが多く新規利用者が少ない。指定管理者と連携を取り利用増に向けて取り組んでいく。



健康のために利用を!

教育総務課

小中学校管理費は

(小学校5460万円)

(中学校3367万円)

問 学力向上に向けた取り組みや、教職員の育成および負担軽減策は。

答 昨年からは、学び方の習得というように変えている。学力を上げるための勉強の方法を町内で統一し教える方向で行っている。また、教職員の育成は、校内で校長を中心に、教育大から講師を招いての研修などを行っている。教職員の負担軽減という面で、本町は進んでいると考える。教科書を全部教えるなくても良いと指導している。

通学路交通安全

プログラム事業は

(12万円)

問 中田から菫蒲田浜へ向かう道路が整備されるが、通学路に認定する方向で考えているのか。

答 通学路の指定は、歩車道の区別がある道路であることや交通量、道路幅員、側溝整備および防犯面などを考慮している。学校や地区、PTAと現場検証して検討していく。

産業課

景観保全事業は

(5万円)

問 松くい虫対策として、伐採などだけでなく抵抗性の松を植栽することのことだが、内容は。

答 君ヶ岡公園と国際村で伐倒した所に、25センチのポット苗を職員で100本植える。

フィッシャーマンズ・

チャレンジ事業は

(798万円)

問 トリガイの種苗生産や育成の進捗状況および取り組みは。

答 5年度では約4300個のトリガイを育成した。6年度は、いかだ4基などで18000個を目標に取り組む。また、販路は漁協七ヶ浜支所と連携し調査していく。

観光振興事業は

(60万円)

問 ながすか多目的広場を核として、にぎわい創出イベントを予定していることだが内容は。

答 七ヶ浜産のノリを使用したN-1グランプリなどを考えている。内容や他のイベントはこれから協議していく。

総括質疑



総括質疑とは、課ごとに質疑を行った後、十分な回答ではないと判断される場合、委員会同意のもと改めて町長への質疑を行うことだよ。

しよつようつ 逍遙のまちづくり事業は

町長 懇談会を重ね計画を作りりたい

問 能勢鯨太委員

4年度から事業が始まった「逍遙のまちづくり事業」だが、6年度は96万円の事業費が計上されている。4年度では300万円、5年度決算見込みでは50万円と毎年一定の歳出が計上されている。5年9月第2回会議の総括質疑で明確な全体像が見えたとはいえない。町民からは「逍遙のまちとは何か、いつできるのか」という問いを受けることも多い。事業の最終目標、完了時期、そこに至る中間目標と想定される事業金額までは提示する必要があると考えるが。

答 町長

地元の人だけでなく、地域の魅力やイメージ向上につなげる関係人口の増加や移住定住の促進など、本町らしい町づくりにつなげられればと考えている。

問 佐藤直美委員

5年度後半は月に1回、菖蒲田浜のメンバーと懇談会を重ね、また現地を歩き歴史文化を再認識した。現在は招又地区の魅力を高めるためにどうリメイクしたらいいのか、訪問者の感性を刺激するにはどうしたらよいか、などの話し合いを続けているが、イメージを決定できる段階までは至っていない。6年度も懇談会を続け、計画の充実に取り組み予定である。

答 町長

6年度中にはイメージデザインにたどり着きたい。一朝一夕に出来上がるものではなく、プランを少しずつ積み上げ、時間を掛けて、大きく育てていきたい。

問 熊谷明美委員

5年度後半は月に1回、菖蒲田浜のメンバーと懇談会を重ね、また現地を歩き歴史文化を再認識した。現在は招又地区の魅力を高めるためにどうリメイクしたらいいのか、訪問者の感性を刺激するにはどうしたらよいか、などの話し合いを続けているが、イメージを決定できる段階までは至っていない。6年度も懇談会を続け、計画の充実に取り組み予定である。

答 町長

特に本事業は狭い路地など町民の生活区域に入り込むこともあり、地区の方とじっくり話をしていきたい。現時点では、事業費や完了時期を示せないがもう少し時間を頂きたい。



五社稲荷明神
どうリメイクされる？

問 遠藤喜一委員

4年度に作ったイメージ図が本町にそぐわないという副町長答弁があった。しかしながら、イメージデザインができていないのが現状である。制作過程でイメージと違うのであれば修正できなかったのか。

答 町長

4年度のイメージ図は壮大でなかなかそぐわないものであった。大先輩なども参加した大きな作業となり、修正ではなかったが、もう一度検証したい。

問 鈴木篤委員

5年12月の全員協議会で6年度は何ができ、何をするかを決めていくと説明があった。予定に変わらないか。

答 町長

イメージコンセプトが伝わらないことや、素材をどうやって拾っていくかなどで悩んでいる。小さな成功事例を積み重ねて、品のある町づくりをしていきたい。

問 遠藤喜一委員

縄文時代から6千年の歴史がある七ヶ浜をもっと押し出さないのか。塩づくりや薬師堂、大木囲い塚など活用すべきものはある。

答 町長

財政リスク管理も考えながら、議論を重ね検証の持てる計画を固めていきたい。

6年度

各種特別会計予算の状況

国民健康保険事業特別会計

23億4900万円 前年度と
ほぼ同額

歳出の主なもの

保険給付費 17億729万円

※一般被保険者医療給付費・高額医療費等

保健事業費 2969万円

※糖尿病性腎症重症化予防事業、各種検診への補助

介護保険特別会計

19億9000万円 前年度と
ほぼ同額

保険事業 18億4669万円

歳出の主なもの

保険給付費 18億4977万円

※給付費負担金

・居宅介護サービス
・地域密着型介護サービス
・施設介護サービスなど

地域支援事業費 8549万円

※介護予防・生活支援サービス
介護予防ケアマネジメント
包括的支援事業費用など

サービス事業 633万円

歳出の主なもの

介護予防支援サービス事業費 601万円

後期高齢者医療特別会計

2億6700万円 前年度比
14.3%増

歳出の主なもの

後期高齢者医療広域連合納付金
2億6272万円

※後期高齢者医療広域連合への納付金

公園墓地事業特別会計

1696万円 前年度比
2.9%減

歳出の主なもの

総務費 778万円

※施設管理委託・墓地管理基金積立金

水道事業会計

収益的
収入 5億413万円 前年度と
ほぼ同額

収益的
支出 4億6102万円 前年度比
1.2%減

収益的支出の主なもの

※原水費 2億3785万円
・仙台市の受水費 4080万円
・仙南仙塩広域水道の受水費 1億8871万円

資本的
収入 33万円 前年度比
増減なし

資本的
支出 1億2685万円 前年度比
46.4%減

資本的支出の主なもの

建設改良費 1億2488万円
※配水管整備事業費 1億1368万円
・老朽管更新工事等
※営業施設整備費 1192万円
・量水器購入代等

下水道事業会計

5億5698万円 前年度と
ほぼ同額

歳出の主なもの

営業費 5億2493万円

※污水管渠費 1324万円

※雨水管渠費 826万円

※污水ポンプ場費 2755万円

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。

- ① 防災・減災事業で、住宅耐震改修や危険ブロック塀除去、住宅用火災報知器などの助成を更に進める必要がある。
- ② 小学校入学祝金支給事業を中学校入学に拡充すべき。
- ③ 保育事業での会計年度任用職員比率が高く、常勤雇用として充実を図るべき。
- ④ 汐見台地区駐車場管理組合との契約内容を見直すべき。
- ⑤ 児童遊園の設備を法令等に準拠するように充足すべき。

賛成

熊谷明美

次の点で賛成する。

- ① 「子ども家庭センター」を新たに設置し、児童福祉と母子保健の一体化

討

論

で、子育て支援策や伴走型相談支援の連携強化等を図っている。

- ② グローバル人材育成として、英語の「書く力」「読む力」の向上やCIR（国際交流員）を招いて働き方を学ぶことを考えている。
- ③ 重篤化リスクの高い疾病の予防対策や、脳ドック助成、フレイル対策、スポーツターの取り組みなどを考えている。
- ④ 津波災害時の避難路整備や大雨時の対策などを考えている。
- ⑤ 「まちづくり振興課」「デジタル推進室」を新設し、地域力の構築など住民サービスの向上を考えている。

国民健康保険

反対 歌川 渡

一般会計からの繰り入れによる国税の軽減を図ること。また国・県に法的負担に準拠した負担率を求めざるべきである。

賛成

能勢鯨太

被保険者数の減少による税収減や高齢化などで財政状況がひっ迫している中、税率の改定や、一般会計からの繰り入れなど財政安定化策を講じ、町民への健康増進策も図っている。

介護保険

反対 歌川 渡

地域支援事業が給付対象外となつたこと、第一号被保険者の負担が引き上げられている。町独自の負担軽減策を講じることや、国に制度の見直しを求める。

賛成

鈴木 篤

第9期計画において、標準段階を10段階から13段階へと多段化し、低所得者の保険率上昇を抑制するなど、制度持続のために工夫している。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

制度そのものが、高齢者の医療費抑制が目的となつている。改正ごとに高齢者の負担が増えており、町独自の支援策を講じるべきである。

賛成

佐藤直美

広域連合への納付により運営されている制度であり、財政運営責任も明確化されている。高齢者の保険事業と介護予防等の一体化事業など、高齢者の健康維持が推進されることや、低所得者への配慮もされている。

水道事業会計

反対 歌川 渡

仙南仙塩広域水道事業との受水契約金額の引き下げにより、町民の使用料を引き下げるべき。また最終受水契約量も過剰であり、是正すべきである。併せて多額の現預金の取り崩しも求める。

賛成

佐藤信輝

災害時や将来に備えた積み立て、老朽管更新工事などを行う予定である。また物価高騰対応重点支援の給付金による基本料免除など早急な対応を図っており、安心安全な水の供給に努め、今後も状況改善策を講じていく方針となつている。

下水道事業会計

反対 歌川 渡

一般会計からの繰り入れ、また企業債償還に資本費平準化債を活用するなど、事業改善を行い、町民負担の軽減を行うべきである。

賛成

鈴木洋市

社会資本整備総合交付金事業などで整備を進め、町民が衛生的かつ快適に生活できるよう、計画的な施設維持管理と、会計方式の変更により効率的に事業運営がされると判断する。

※公園墓地会計は

反対なく全会一致で可決

相撲場とアーチェリー場解体へ

補正 予算

5年度一般会計補正予算(第7号)は、2億1657万円を減額し、総額を80億6368万円としました。本議案は原案のとおり可決しました。

■一般会計の主な補正予算項目

債務負担行為の補正

事業名	期 間	限度額	理 由
七ヶ浜国際村 舞台照明設備 改修工事	6年度 ↓ 5年度から 6年度まで	1億4000万円 ↓ 2億9000万円	事業総額2億9000万円のうち、1億5000万円を前払い金として計上していた。前払い金が不要となったため、5年度中に減額補正し改めて計上するもの

債務負担行為とは

翌年度以降の債務を予算で決めておくことをいいます。
一般家庭に例えると「ローン」にあたります。

歳入(収入)

項 目	補 正 額	理 由
地方交付税	2億863万円	再算定による臨時経済対策費分等の算定変更などがあり交付額が確定したため
財政調整基金 繰入金	2億1770万円	物件費、普通建設事業費の整理や町税の増収および普通交付税の再算定で追加措置されたことなどにより取り崩しを抑えることができたため

歳出(支出)

項 目	補 正 額	理 由
さくら放課後児童 クラブ改築工事を 減額	△2431万円	改築工事の整備事業が完了することから整理するもの
野外活動センター 相撲場及びアーチェ リー場解体整地工事	964万円	相撲場は解体撤去し令和6年度中に活用方法を検討アーチェリー場は解体撤去後、芝張り予定
七ヶ浜中学校プール トイレ改修工事・屋内 運動場屋上防水工事	431万円	プールトイレ改修工事は、水流が弱く支障があるためタンク式便器に改修 屋内運動場は玄関エリアの雨漏りにより照明器具が漏電することから防水改修工事
生涯学習センター 防水対策工事	435万円	生涯学習センター屋上から雨漏りが散見されることから、シート、防水シーリング工事を施工
七ヶ浜健康スポーツ センター指定管理料 へ追加	492万円	指定管理者が支出削減対策を講じてきたものの、コロナ感染拡大による利用控えや災害復旧工事などによる不可抗力に対する赤字補てん

問 野外活動センター相撲場及びアーチェリー場解体整地工事 (964万円)

答 生涯学習課長
相撲場に隣接しているパターゴルフ場は、工事車両の出入りがあるため、安全面から使用不可とする期間が出る。安全を優先して工事を進める。



新たな活用に期待
(解体されるアーチェリー場)

問 七ヶ浜国際村舞台照明設備改修工事 (限度額 2億9000万円)

答 工事内容と工期は、施工から30年以上過ぎ、老朽化している施設の設備改修が今回の目的。照明をLED化するものである。

舞台上の照明約150灯、客席上約60灯。さらに照明操作室の設備改修も行う。ホールの中、客席全般にわたって改修工事を行う内容である。
工期は9月中旬から11月中旬までの予定。

議案審議

介護保険条例の一部を改正

条例改正

●介護保険条例の一部改正

内容

第9期介護保険事業計画実施にあたり、所得段階別保険料を改正するものです。

討論

反対

歌川 渡

国保税や後期高齢者医療保険料が引き上げられ、さらに介護保険料の引き上げは、物価高騰の影響を受けた町民の負担増になる。
基金を取り崩し、介護保険料を据え置くことを求める。

賛成

仁田 秀和

安定的な事業運営を図る上で適正と判断する。また保険料率を13段階に細分化し低所得者等にも配慮されている。

採決の結果
賛成多数で可決

所得別階級区分	年額介護保険料	対象人数(令和6年)	年額増減(8期比)
1~3段階	22,572円 ~ 54,252円	1,499人	△1,152円 ~ 1,548円
4~13段階	71,280円 ~ 190,080円	4,493人	4,320円 ~ 59,880円

●5年度国際村舞台照明設備改修工事

- ・契約金額
2億7280万円
- ・契約先
株式会社エアテック
塩釜営業所
- ・落札率・99.88%

質疑

問 5年度当初予算で議決した案件が年度末に締結になった経緯は。

答 国際村事務局長
設計などの見積もりは職員が行い、12月に起案し、年度末の発注になった。

問 落札率が過去にあまり例を見ない事例になっている。しかも当初2社だったが1社が辞退



した。このことを執行部はどう捉えているのか。また、設計を外注しなかった理由は。

答 財政課長 資材不足
物価高騰で、入札参加者がいるか不安があった。結果的には高い落札率で決まった。

答 国際村事務局長
民間業者から採用した照明関係の専門性が高い職員が設計し積算した。

採決の結果
反対なく全会一致で可決



みんながますます輝く舞台

議員提出議案

●国に対し、自由民主党の派閥が政治資金パーティーの収入の一部を収支報告書不記載について、国民に説明責任果たすことを求める意見書

討論

反対

岡崎 正憲

「政治資金の還流とその処理」に対しては、多くの国民、自分自身を含め憤慨に堪えない。

疑惑解明に向けて、衆参両院政倫審にて審議中で規正法等の見直しや内部からの自浄作用を進めようとしている。現時点で意見書を提出する時期ではない。

採決の結果
反対多数で否決

定例会3月会議 提出議案採決結果一覧 (3/1~15)



賛否が分かれた案件は採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	鈴木洋市	鈴木篤	佐藤信輝	能勢鯨太	鈴木博	鈴木恵子	佐藤直美	熊谷明美	佐藤壮一	遠藤喜二	岡崎正憲	歌川渡	仁田秀和	安倍敏彦	
6年度一般会計予算	11	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年度国民健康保険事業特別会計予算	11	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年度介護保険特別会計予算	11	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年度後期高齢者医療特別会計予算	11	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年度水道会計予算	11	10	3	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6年度下水道事業会計予算	11	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険条例の一部改正	13	11	2	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
政治資金規制法に係る疑惑解明を求める意見書(議員提出議案)	13	4	9	否決	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 議長は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例改正ほか

- 工事請負契約の締結について「令和5年度七ヶ浜国際村舞台照明設備改修工事」13参照
- 総合開発審議会条例及び農業委員候補者評価委員条例の一部改正
- 都市計画法条例の一部改正
- 漁港管理条例の一部改正
- 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正
- 指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- 監査委員条例の一部改正
- 給水条例の一部改正

議員提出議案

- 地域を支える、中小・小規模事業者の支援に重点を置いた経済対策の早期実施を求める意見書
- 七ヶ浜町議会委員会条例の一部を改正
- 後期高齢者医療制度に関する意見書

補正予算

- 5年度一般会計補正予算(第7号) 12参照
- 5年度下水道事業特別会計補正予算(第3号)
- 5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
- 5年度公園墓地事業特別会計補正予算(第1号)
- 5年度介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 5年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 5年度水道事業会計補正予算(第5号)

2月 会議

国保会計に1億円を繰り入れ

2月14日に2月会議を開催し、課設置条例の改正や一般会計補正予算、国保特別会計補正予算などを審議しました。

補正予算

●一般会計補正予算 (第6号)

内容

5年度の一般会計予算に歳入歳出それぞれ1億6103万円を追加し総額を82億8024万円とするものです。

●財政調整基金繰入金 (1億687万円)

内容

国保残高が不足となっているための繰入れと、能登半島地震に対する災害派遣などの対応をするために繰り入れるものです。

質疑

問 現在の基金残高は。

答 財政課長 5年度末で13億4940万円となる予定である。

●物価高騰対応重点支援給付金支給事業費 (5416万円)

内容

本町に住民登録のある住民税非課税世帯を支援する事業です。

質疑

問 物価高騰対応重点支援給付金の申請期限が令和6年8月末であるが、申請漏れを防ぐ工夫や支給時期は。

答 長寿社会課長 広報の3月号やホームページSNS等で周知を徹底し、速やかに支給したいと考えている。

採決の結果
反対なく全会致で可決



●国民健康保険事業特別会計補正予算 (第4号)

内容

一般会計繰入金を財源として、財政調整基金積立金へ追加、歳入歳出それぞれ1億円を追加し総額24億5727万円とするものです。

質疑

問 これまで法定繰入以外は一般会計からの繰り入れはなかったが、今回、1億円もの繰り入れを行った理由は。

答 町民生活課長 一般的には国保財政は特別会計の中で賄うということが原則となつていますが、今回は、税率を上昇改定しても国保特別会計が不安定なところがあったため、緊急避難的に一般会計から一時的に繰り入れたものである。

採決の結果
反対なく全会致で可決

条例改正

●課設置条例の一部改正

内容

行政サービスの向上に必要な組織改編を行うものです。

質疑

問 政策課と財政課を一体化することによる町民のメリットは。

答 総務課長 政策推進にあつての調整連絡や、予算配置を担う重要な課が一体化することで、現場の方の動きがさらに良くなるのがメリットだと考える。

問 デジタル推進室では専門的な知識を持つ人材が必要になると思うが、人材育成は。

答 内部で職員として育成するのが最も良いが、外部委託なども柔軟に検討しながら進めていきたい。

採決の結果
反対なく全会致で可決

5年度まで

課名	
政策課	
財政課	
産業課	
水道事業所	



6年度から

課名	係名	主な業務	連絡先
まちづくり振興課	まちづくり推進係	地域振興 交通対策 統計 広報・広聴 商工・観光	357-7443
	産業振興係	農林業 水産業	357-7444
デジタル推進室	-	デジタル化の推進	357-7436
企画財政課	企画調整係	町政の総合企画	357-7438
	財政係	財政	357-2117
上下水道事業所		係・連絡先の変更なし	

一 般 質 問 一 覧 表

3月会議の一般質問は、3月14日と15日に行い9人が活発な議論を展開しました。

内容は17~25ページに掲載しています。なお、タイトルは通告のとおりです。

仁田 秀和 …… 17ページ

- 施政方針及び少子高齢化対策について
- 公共施設の更新問題について
- 今年1月に発生した大しけの影響による、のり養殖施設破壊や赤腐れ病に伴う減収への救済策について

歌川 渡 …… 18ページ

- 水道料金の引き下げを
- 災害時の避難場所となっている拠点・指定避難所に貯水タンクの設置及び小・中学校体育館にエアコンの設置を
- 老人福祉センターの環境改善を

熊谷 明美 …… 19ページ

- 1か月児健診での聴覚検査及び5才児の健康診査の実施は
- 発達障がいへの支援は

遠藤 喜二 …… 20ページ

- 民間建立戦没者慰霊碑の安置されるべき場所について
- 町道七ヶ浜縦断線の桜が大事か、躑躅が大事かについて

鈴木 恵子 …… 21ページ

- 聴力健診と、補聴器購入への助成について

鈴木 洋市 …… 22ページ

- 防犯対策について

佐藤 直美 …… 23ページ

- 大規模災害の備えについて
- 生涯学習センター、野外活動センター、スポーツ施設の充実策について

鈴木 博 …… 24ページ

- 部活動の地域移行およびスポーツ奨励金制度について

能勢 鯨太 …… 25ページ

- 町民バス「ぐるりんこ」のオンデマンド化について
- 海水浴場マナーアップ条例について
- トライアスロン大会新会場について

ズバリ

町政を問う



に っ た ひでかず
仁 田 秀 和

少子化対策は

町長 国の動向を注視していきたい

問 本町の少子高齢化の深刻度を町長はどのくらい捉えているのか。

答 町長 日本が直面している最も深刻な社会課題の一つである。厚生労働省が発表した令和5年の出生数は76万人を割り込んでいる。政府と地方自治体が一体となって対策に取り組むべき重要な課題と捉えている。政府が打ち出す施策や制度を注視して町の対応を考えていく。

問 子どもを産みたいが、経済や就労状況などにより、子どもが産めないといった方々に寄り添えるような政策を図る考えはないか。

答 今後、国が打ち出す政策を漏らさずに、把握するとともに、本町で、できるものを考えていきたい。

問 町独自の就職支援も必要だと思つた。

答 一時的な補助金などで、人口が増えるわけではない。今後、分析していきたい。

問 全国的に、AI技術を活用した婚活事業が進んでいる。マッチングアプリなどを活用した婚活事業を進める考えは、県でもさまざまな事業を実施している。

答 結婚に対する考え方が変わってきている。行政がこれを決め手だというものがないのが実情である。マッチングアプリも含め、他自治体の取組情報を取り入れ考えたい。

問 少子化対策として、小学校入学祝い金を支給しているが、負担軽減を図るため中学校入学祝い金を支給する考えは、子育て施策として実施しているほかの自治体はあるが、効果が表れていないのが実情である。本町としては、グローバル人材育成などの事業に資金を投じてきた。

答 さまざまな少子化対策事業を進めるためには財源の確保も課題である。全国的にも議論が進んでいる、敬老祝い金などの見直しを図る考えは、また、代替案として、く

るりんこの永年無償化も考えられるが。

問 少子高齢化が進んでいる本町では、移住定住の課題を抱えている。土地利用の最適化や地域全体の再生、移住定住促進のために、土地区画整理などの必要性を調査する考えはないか。

答 以前から調査をしているが、市街化区域の未利用地の活用が進まない。市街化区域の有効活用を課題と考えている。

問 高齢化が進んでいる地域における、若手世代の育成や参画促進を町として後押しすることも必要である。また、地区では役員などのなり手不足も顕著になってきているが。

答 総務課長 区長会などを通して、各地区の取組が紹介されている。吉田浜地区では若い住民の育成が進んでいるので、各地区に紹介しながら後継者の掘り起こしができればと考える。



未来のいぶき

※その他にもこんな質問をしました。

「公共施設の更新問題について」
「今年1月に発生した大しけの影響による、ノリ養殖施設の破壊や赤腐れ病に伴う減収への救済策について」

平成22年度以降受水料金契約軽減額状況（消費税含）

契約期間	契約日水量	責任日水量(80%)	受水料金(年平均)	前期後5年間軽減額
H18～21	6,200ト	4,960ト	288,046千円	
H22～26	6,100ト	4,880ト	263,169千円	124,385千円
H27～R1	5,900ト	4,720ト	249,335千円	69,170千円
R2～R5	5,800ト	4,640ト	195,794千円	214,164千円
R6～R10	5,600ト	4,480ト	188,708千円	35,430千円
H18とR6の差	600ト	480ト	99,338千円	443,149千円

407,719千円
H22～R10
総計減額



うたがわ わたる
歌川 渡

契約を実配水日量に

町長 乖離があることは認識している

問 仙南仙塩広域水道との令和6年度から令和10年度までの契約更新で引き下げられた受水契約内容と、平成22年度、平成27年度、令和2年度で軽減された軽減額の用途等は。

答 町長 1日当たりの契約水量は5300m³基本料金は、基本水量1m³につき799円。使用料は給水量1m³につき、41円に見直され、令和6年度から令和10年度までの適用となる。

問 現行と比較すると、契約水量は500m³減、基本料金は18円の減、使用料金は1円減となる。

問 覚書の年度別需給給水量は、109000m³だが、町水道ビジョン「給水人口・有収水量の推移」に照らし、適正な受水日量と判断したのか。実配水日量に近い6000

m³にすべきではないか。

答 乖離があることは、十分認識している。今回締結した覚書の中に、3ヶ年を目的に意見の集約を図り、基本料金の算定基礎となる基本水量および料金負担の速やかに料金設定に反映すると記載している。

問 令和6年度から令和10年度の支払い受水料減額はいくらか。

答 年間当たり約700万円と見込んでいる。5年間で約3500万円の減額となる。

問 平成22年度、平成27年度、令和2年度の契約期間で支払い受水料減額はいくらか。

答 平成22年度の5年間は12億4667万7294円。平成27年度の5年間は6916万6976円の減額。令和

2年度から令和5年度4年間は、令和5年度分が確定していない。

保資金3164万9287円と減債積立金から1億円を充当。

問 平成22年度から減額された金額の用途は。

答 各事業年度の営業損失の補填とした。

問 令和5年度末の起債残額と減債償却費は。

答 未償還予定額が、197万3065円。減債償却費は、令和5年度決算の予定額で、1億3066万1000円。

問 平成18年度時点の起債償還計画で元利償還額を平成20年2618万1000円が5045万3000円に、平成21年度2738万1000円を765万円に償還増額した充当財源元は。

答 平成20年度は損益勘定留保資金を充当。平成21年度は損益勘定留

老人福祉センターにエアコンを

町長 エアコン設置の考えはない

問 エアコンを設置する考えは。

答 町長 エアコン設置の考えはない。

問 カラオケ機器が使えないが。

答 3月5日に利用できるようにした。

問 血圧計が使えないが。

答 再設置を進めている。

※その他にもこんな質問をしました。
「災害時の避難場所となっている拠点・指定避難所に貯水タンクの設置及び小・中学校体育館にエアコンの設置を」



くまがい あけみ
熊谷 明 美

1か月児・5歳児健診の実施は

町長 内容を含めて検討する

問 1歳6か月児と3歳児健診は法令により実施されている。国では、出産後から就学前まで、切れ目のない健康診査の実施体制整備を目的として新たに1か月児と5歳児健診の実施を目指しているが。

答 町長 1か月児と5歳児健診ともに、内容を含めて、医師会や他市町村との協議をふまえて検討する。

問 難聴の子どもが正しく言葉覚えたり発話するためには、早期発見・療育が必要である。1か月児健診に、聴覚検査を入れる考えは。

答 4年度から公費負担で新生児聴覚検査を実施している。1か月児健診では、実施の確認となっている。

問 3歳児健診の次は、就学時まで健診は行われぬ。5歳児健診を実施することで、切れ目のない支援が可能となる。また、健診内容に発達障害検査を入れることで、小学校入学までに、発達



障害への支援体制が作られると思つが。

答 5歳児健診は集団健診となる。医者や看護師など健診に従事する専門職の確保が必要となる。このことを含め実施を検討したい。

発達障害への支援は

教育長 最重点取り組みの一つ

問 小・中学校では、発達障害の特性を十分に理解し対応しているのか。

答 教育長 最重点取り組みの一つとして、発達障害は、多様で一斉指導が困難なため、一人一人の個別指導計画に基づいて対応している。

問 困難に直面している子どもや保護者の相談支援体制は。

答 就学前は、保健師や心理士等が個別相談支援を行っている。就学後は、医療機関との連携体制も入れて、長期的に子どもや保護者への支援体制の取り組みに努めている。

問 児童発達支援センターや発達障害・療育センター設置の考えは。

答 子ども未来課長 考えていない。

問 文科省は、4年度の通常学級での学習面や行動面で困難を示した児童生徒の割合を8.8%としている。

答 本町の現状と学習支援としてICTの活用は。

答 15.2%で、国の平均常学級は130人、特別支援学級は65人となっている。ICTの活用は、使うことで伸びる児童とはまり込んで依存的な脳障害を起こす場合もあり、医師による医学的評価が必要となる。様子を観察しながら活用している。

問 発達障害の子どもを育てた経験があり、研修等を受けた保護者が、現在子育て中の保護者の話を聞いたり、自身の体験を話してサポートする、ペアレント・メンターの活用は。

答 障がい児を持つ親の会から支援したいとの声はあるが、当事者の保護者の方は、ネットや仙台区のさまざまな機関にアクセスしており、制度化していない。





えん どう よ し じ
遠 藤 喜 二

戦没者慰霊碑の安置場所は

町長 今後対応を協議していく

問 日清・日露戦没者の
慰霊碑が民間所有地内
にある。

同じ英霊の名が刻まれ
たものが諏訪神社の「昭
忠碑」に八柱ある。

所有者が引き継いだと
いつても英霊が刻まれた
碑を町の所有地である、
七ヶ浜中学校東側グラウ
ンドの「忠霊碑」の場所
か名が刻まれている諏訪
神社に移設する考えはな
いか。

答 町長 戦没した方々
を悼み建立したもの
である。現在の所有者が
土地を購入し新築した際
に移設したものである。

町の「忠霊碑」にすべ
ての方々の名前が刻まれ
ている。現在の所有者が
氏神様のなものとして建
て直し設置している。

現在は個人の所有であ
り、今後、対応を協議し
ていきたいと思う。



民有地に残されている「昭忠」の碑

縦断線の桜が 苦しいと泣いている

町長 せんてい 剪定や撤去を考えていきたい

問 「綺麗な桜が咲いた」
と町民が喜ぶ姿が目
に浮かぶ。春に向けて、
花が咲く前に剪定したり、
絡まるツタを除去したり、
絡まるツタを除去したり、
下のツツジが桜の根の栄
養分を摂っている。桜が大
事かツツジが大事か。

答 町長 景観道路のア
クセントとして、根
元にツツジを植え桜並木
をイメージして、道路両
側に配置した。

道路新設時に植えたも
のであり老木化と枝が通
行の支障となっている。ま
た混植による栄養不足で
桜の樹勢が衰えてきた。

枯れ枝を含めて剪定や
撤去を考えていきたい。



共生では双方に栄養がいき渡らない

問 ギチギチに絡まって
いるツタは、ノコギリ
か斧で取れる。早めの処
理はできるのか。

答 建設課長 桜に余計
な負荷がかかっている。
ツタの撤去を現場を
確認しながら早急に進め
たい。



すずき けいこ
鈴木 恵子

聴力検査と補聴器購入への助成を

町長 現時点で独自の助成はしない

問 難聴を早期発見できれば、認知症の予防や健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制と、介護予防とも繋がる。そのため、町の特定健診にあわせて聴力検査・検診を同時に実施することが重要と思うが。

答 町長 加齢性難聴は、誰にでも起こりうる」と認識している。国は、特定健康診査項目には含まない。現時点で、町としては独自の検診はない。

問 4年3月会議で、歌川議員が同様の質問の際、今後検討していきたいとの回答だった。その後どのように検討がされたのか。

答 健康福祉課長 国での動きを注視して、適切に判断し対応する。

問 国は、認知症施策推進総合戦略において加齢や高血圧などとともに、難聴も認知症の危険因子の一つと挙げている。予防手段として補聴器の役割は大きく、購入費を助成する自治体も増えている。本町でも補聴器購入への助成をする考えはないか。

答 町長 聴覚障害で、障害者手帳を持っている補聴器が必要と認められた方には、補聴器購入を助成している。加齢性難聴による補聴器購入助成は、現在、町独自で助成する考えはない。

問 障害者手帳に該当となる聴力は70デシベル以上となる。その前の30から40デシベル頃から対応する必要があると思うが。

答 健康福祉課長 加齢性難聴を悪化させるのは、糖尿病・高血圧・高コレステロール等のいわゆる生活習慣病が要因とも考えられている。まずは、生活習慣病の改善の取り組みをする。その過程で、加齢性難聴が疑われる場合には医療機関の受診を勧める。

問 6年度施政方針に、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業が示された。その過程で、特定健康診査の項目に検査も含めることや、補聴器購入の助成は検討されてこなかったか。

答 高齢者に、まずは、住民健診を受けてもらい、必要な方に医療機関の受診を勧めていく。



よく聴いて社会参加を



防犯対策強化を

町長 「みまもり自動販売機」を設置

問 現在の防犯対策は十分に取れているか。

答 町長 平成31年度より下校時刻に合わせた防災無線による児童見守りの町内放送を開始した。3年度から青色防犯パトロールも取り入れた。また、特殊詐欺等の事案には、SNS発信や防犯無線による放送を行っている。防犯対策をどれだけ講じても100%犯罪をなくすことは困難であるが、これらの対策が抑止力の一つになっており今後も有効な対策を講じていく。

問 平成31年3月議会で防犯カメラの信号機への設置に関する質問がされ調査する旨の回答があった。その後の調査結果と対応は。

答 塩釜警察署に確認したところ信号機への設置はできないと回答があった。

問 電柱等に設置する定点カメラは。

答 電力会社の許可が必要である。また、設置の提案があり検討を重ねている。

問 設置に向けた今後のスケジュールや、維持管理にかかる費用負担などは。

答 花洲浜多目的広場駐車場に一台の設置は決まっている。協定の中で売上を設置費用に充てることあり、最終的に何台設置するかは設置者による。

問 いたずらや車上ねらいなどの事案もある。少年犯罪の抑止や窃盗等の犯罪防止として定点の防犯カメラの設置は。

答 犯罪となると警察も関係してくる。地区や警察から具体的な場所を示されれば、検討をしていく。

問 防犯カメラはイーシャルコストやランニングコストの経費面、映像保存期間、確認方法、取り付け方法など、今後の検討に当たってはイーシャルコストで高性能なものが求められる。実用性を踏まえ今後も検討していく。

問 防犯カメラ設置に関する情報収集していた中で、5年8月にキリンビバレッジ株式会社様より「みまもり自動販売機」の提案があり、塩釜警察署も含め候補地の下見など対面での協議を重ね、6年2月19日の締結式に至った。

問 防犯活動に関する協定の締結式が行われた経緯は。

問 不審者等の対策として通学路に防犯カメラの設置は。

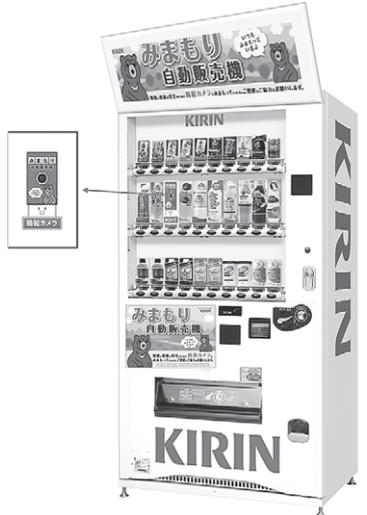
問 暮らしの安全を確保し、犯罪抑止と防犯意識を高めるために防犯カメラの設置は。

ひとロメモ

「みまもり自動販売機」

自動販売機の内部に防犯カメラを搭載したもの。

目線の高さで撮影しているためカメラの存在に気付きやすく、犯罪の抑止効果が高まる。



安心して暮らせる地域に

問 「みまもり自動販売機」設置に関して地元の要望を取りまとめるのか。

問 公園や公共トイレの防犯対策として、防犯カメラの設置は。

問 独自に防犯対策を講じる場合、補助をすることを考える。

答 当面は公共施設に設置を考えている。

答 「みまもり自動販売機」の設置に取り組む中で検討していく。

答 今後とも検討していく。



さとう なおみ
佐藤 直美

総合防災訓練を 実施する考えは

町長 今のところ考えていない

問 本町は、昼夜間人口比率が低く、日中の防災体制には不安な面がある。全小中学生も訓練に参加できる総合防災訓練を毎年実施する考えは。

答 町長 昼夜間人口比率は、約66%と低く日本一である。平日の日中に災害が発生した場合、避難面などを懸念しているが、全町民が参加する大規模な防災訓練は今のところ考えていない。昨年松ヶ浜小学校を会場に実施した規模の訓練を、各年、小学校の学区ごとに一校ずつ町民の避難方法に重点を置いて実施する考えである。

問 必要な物資の備蓄や細やかなニーズを把握するためにも、女性の視点が必要である。備蓄状況と、女性職員のかかわり方は。

答 生理用品1万5910枚や哺乳瓶116本、紙オムツ1678枚、粉ミルク96箱、液体ミルク192缶、アレルギー対応ミルク8缶を備蓄している。また家庭においては、非常持ち出し品の準備を

呼び掛けている。町地域防災計画や避難計画等を策定する際に開催される防災会議に、女性委員3名を委嘱し意見をいただいている。

防災対策室には女性の職員は配置されていないが、避難所の運営や備蓄などを検討する際には、地域の女性団体にも参加していただき、女性の視点も含めて物品の選定をしていく。

問 おむつ替えをする際に必要なおしりふきや離乳食、おりのシート、女性男性も使う尿漏れパッドなど、町民が必要とするものを備えるべきである。女性職員や子育て世代のニーズを吸い上げ、今日起こるかもしれない災害に備える必要があるが。

答 副町長 今までは男性の目線のみで考えていたが、すぐにでも町の女性職員に意見を聞き、その後、町民の意見を吸い上げていきたいと思う。

相撲場跡地の整備は

教育長 6年度中に検討する

問 生涯学習センターや野外活動センター、スポーツ施設を更に充実させる必要がある。合宿施設やスケートボード場へのセクションの設置および屋根付きの休憩スペース、相撲場やアーチエリーフ場跡地、キャンプ場を整備する考えは。また、サッカースタジアムにカフェを設置する考えは。

答 教育長 町外のスポーツ施設を利用する際は、町内の旅館などを宿泊地としており、利用増進につながっているため合宿所の整備は考えていない。若者の施設利用による交流人口の増加を目的にスケートボード場や3x3コートを整備を行っているが、相撲場を解体しスポーツ振興交付金の活用を前提とした施設整備の検討を、6年度中に行う予定である。ご意見をいただいた内容も踏まえ、

今後の整備検討の参考とさせていただきます。アーチエリーフ場は既存の施設を撤去後、芝生広場として整備する。

キャンプ場には木の根の影響で地面の凹凸が残っているほか、傾斜があつてテントが立てにくくなつてきている。松くい虫対策で伐倒した、根の部分が残っている分の伐根処理や、盛土等の検討を進め

る。時期は、伐倒処理が一通り完了した頃を目標に検討を進めたいと思う。サッカースタジアムのカフェに関しては整備する考えはないが、大会開催などで多くの参加者が見込まれる場合、町観光協会にキッチンカーの手配が可能かどうか今後調整していきたいと考えている。



跡地の有効活用を期待する



す ず き ひろし
鈴 木 博

スポーツ奨励金の拡充を図れ

教育長 幅広く検討する

問 従来の部活動のメリット、デメリットは。

答 教育長 チームワーク作りや精神、技能の鍛錬などを通して人間性を豊かに育む役割を果たし、生徒指導の中心を担う活動となっていることがメリットと考える。

問 一方で、過度な練習による健康被害や、スポーツ科学に基づかない精神主義的な指導による人権問題、教師が授業の準備不足に陥っていることがデメリットとしてあげられる。

答 これまで部活動は教育の一環で必須加入だった。6年度からは任意加入となるが、地域クラブの受け皿が整っていないなかで早かったのではないか。

問 生徒の利益や成長において、むしろ遅かったと思う。

問 学校側として入部への積極的な呼びかけがあってもよいのではないか。

答 中学生としてのあり方生き方を問うこと。子どもたちに自己決定をさせること。このプロセスは踏んでもらう。



全国大会を目指して

問 近隣二市二町と比べ、本町のスポーツ奨励金が少ないと感じる。次世代を担う子どもたちへのスポーツ推進や機会の充実を図るため、スポーツ奨励金の増額、要件の緩和などの考えはないか。

答 スポーツ奨励金は、各種スポーツ大会で優秀な成績を収め、全国大会に出場する町民を支援するために支給するものである。奨励金の増額や要件の緩和など、生涯スポーツを推進する観点から、近隣市町の動向を踏まえ幅広く検討を進めていく。

問 本町では少なくとも20年間据え置かれていた。時代の変化やニーズに合わせて見直す考えはなかったのか。

答 生涯学習課長 過去の検討の経緯は承知していない。近隣市町の状況を見ながらできるだけ早く検討を進めていく。



応援にも熱が入る

問 このスポーツ奨励金を利用した子どもたちからオリンピックク選手が出てくることを願うが。

答 町長 まさにそれから、世界で活躍する選手が出たら大変うれしい。町内に住んでいただけなら、なおいなと思っている。



のせけいた
能勢 鯨 太

町民バスのオンデマンド化は

町長 ニーズを把握し検討したい

問 現在の町民バス「ぐるりんこ」の運行形態や利用状況をどう検証、分析していくのか。

答 町長 利用者にアンケートを実施して、ニーズを確認していく。利用状況は運行会社から毎月報告を受け、人流の傾向を分析している。

前回調査が令和元年に実施されたものであり、改めて実態調査する。調査結果を踏まえて地域交通会議で検討していく。

問 施政方針で「交通体系の構築を模索」と述べたが、現時点で想定される次世代地域交通手段の候補は。また過去に検討した際に実現化しなかった理由は。

答 オンデマンド交通やライドシェア、あいのりサービス、自動運転など様々な手法を探っていく。ライドシェアなどが使いやすいのではとも感じているが、町内の民間事業者との兼ね合いなどもあり、思い切ったことができていない。

過去には福島県浪江町の事例を参考に検討した

が、システム経費だけで1億円ほど掛かるというところで断念した。

問 便数が少なく、乗車率も低い日中便を廃止し、オンデマンド化するなどという形態はどうか。

答 午前中の下り便、午後の上り便は、利用人数5人未満だが一部では10人以上乗車しているものもある。各便の利用状況を把握して、どのような運行形態が合うのかを課題として検討する。

ニーズとして通勤通学や買い物、病院通いなどが多いと認識している。



もっと便利にしたい、ぐるりんこ

海水浴場マナーアップ

条例化を

町長 条例化以外の方法で善処する

問 海水浴場来訪者の一部に、砂浜での喫煙や飲酒、火気使用、入れ墨やタトゥーをさらし周囲に不快感を与えるなど、マナーの悪い方がいる。海水浴場スタッフが注意しても現在の善意に頼るルールでは限界があり対応に苦慮している。

答 鎌倉市などで導入している海水浴場マナーアップ条例を制定し、安心安全な海水浴場を目指す考えはないか。

答 町長 神奈川県では、海岸管理者である県の条例に基づき地域の実情に応じて運用されている。本町では、海水浴場開設や菖蒲田浜以外の浜の運用など多くの議論が必要で、現在は条例を定めることは考えていない。海水浴に限らない海岸利用のマナーを海岸管理者の県と相談していく。

答 産業課長 町としてマナー向上は願っており、6年度から条例ではない形で対応を考えていく。例えば現在のルールを町からも周知させていく、警察や消防、海上保安庁などと連携強化するなど。

問 第30回を迎え、菖蒲田浜に会場を移転するトライアスロン大会だが、大会コースは従来よりも短い距離に留まり、広く町民の目に触れて欲しいという趣旨と一致しないように見えるが、コース設定の経緯と町の見解は。

答 町長 従来は湊浜開のアクセス、選手の駐車場の確保などが課題で、トライアスロン協会と協議の上で菖蒲田海浜公園へ移転を決定した。区長会では更なるコースの見直しの意見があり、令和7年度大会に向け協会と議論していく。大きなコースで七ヶ浜の良いところ、アップダウンなどを感じてほしいと思っている。

トライアスロン大会移転は

町長 来年度もコースは検討する

答 町長 従来の湊浜開のアクセス、選手の駐車場の確保などが課題で、トライアスロン協会と協議の上で菖蒲田海浜公園へ移転を決定した。区長会では更なるコースの見直しの意見があり、令和7年度大会に向け協会と議論していく。大きなコースで七ヶ浜の良いところ、アップダウンなどを感じてほしいと思っている。

議会 活性化

議員定数や議員報酬を学ぶ



河村准教授による講演会

2月13日役場議場において、東北大学大学院河村和徳准教授をお招きし「議員定数や議員報酬について」をテーマに研修会を開催しました。講演では、町村議会の歴史的背景や議員定数確保の必要性、議員報酬の考え方や、さまざまな視点や先進地の取り組みなどを紹介いただき、大変参考となりました。

- ・ 主権者教育の担い手育成も含め、地域の課題や議会の仕組みを説明し、町民に理解してもらうことが重要
- ・ 定数と報酬は性質が違うことから切り離して考えるべき
- ・ 活発な議員活動をするためにも相応の報酬は必要だと思つ
- ・ 町民の声を広く吸い上げるために議会全体として適切な人数が必要
- ・ 定数削減によつて立候補者が少なくなることもある
- ・ 議会は協議体や審議体として役割を考えるべき
- ・ 定数を減らすと行政改革に貢献するが、住民からすると相談が減る可能性があり、住民サービスが得られなくなる
- ・ 地方議員の数を減らすことが行政改革に貢献することはない
- ・ 議員数が地方交付税の算定根拠の一つになっていることを考えなければいけない

このたびの研修会を受け、多くの委員から町民の皆さんの理解が必要という意見が出ました。今後は、住民懇談会などでテーマを設けるなど理解醸成に取り組みながら引き続き「議員定数や議員報酬について」協議してまいります。

4月から

議会タブレット導入



運用されるタブレット端末

ICT推進プロジェクトチームが進めていたタブレット導入に向けた運用規程がまとまり、4月から委員会での活用を中心にタブレットが導入されます。

議会として、町民の皆さんからの負託に corres ponding するために真摯に取り組んでまいります。

広報 分科会

全国第1位の 広報づくりを視察

広報分科会において、2月8日から2月9日の日程で、岩手県雫石町と同県岩泉町の広報編集方針等の視察に行きました。両町ともに全国町村議会議長会主催の全国広報コンクールで、大変素晴らしい功績をあげられており、その取り組みや成果を直接目の当たりにし、今後の広報編集に役立つ貴重な知見を得ました。

雫石町

議会の活動を町民に分かりやすく知らせるために、町民の関心度が高い記事やレイアウト、文字の配置など見やすい議会だよりの編集に取り組みれておりました。

また、表紙写真もテーマを設定し町民参加を促すなど、大変参考となりました。

岩泉町

全国広報コンクールで

常に上位入賞を果たされていいて、手に取って読んでもらうための工夫が細部にわたり施されております。また、編集方針の研修に加え、本町の「議会だより」を題材としたクリニックを実施していただきました。指摘いただいた内容を当分科会で精査し編集に生かしていきたいと思ひます。

今後とも、なお一層読みやすく親しまれる「議会だより」になるように、皆さまのご協力をいただきながら委員一同、精一杯取り組みで参ります。



先進地の取り組みを学ぶ



実際にAIタクシーに乗車

会津美里町
 本町のおよそ21倍あり、世帯数は7202世帯の自治体です。
 平成19年に「デマンド交通」を導入し、町民の日常生活・買い物や病院、通勤・通学などの移動手段として町民に寄り添う交通機関を運営しています。

所管事務調査「DXを活用したぐるりんこの運用」の二環として行政視察をしてきました。



公共交通の利便性を求めて

龍ヶ崎市
 主に東部地区の市民の交通手段が少ないため、タクシー会社でDXを活用した実証実験を行っています。

**総務
 産業**

**町民が使いやすい
 バスを視察体験**



議会報告・懇談会を 開催します

議会報告・懇談会を5月18日、19日、21日に開催いたします。多くの方の参加をお待ちしております。

開催日	時間	会場	対象地区	班	班編成
5月18日 (土)	午前 10:00~11:30	遠山地区避難所	遠山	1班	1班 鈴木 篤 鈴木 博 佐藤直美 歌川 渡
		東宮浜地区交流センター	東宮浜	2班	
		亦楽地区公民分館	亦楽	3班	
	午後 1:30~ 3:00	汐見台第二公民分館	汐見台	2班	2班
		代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	3班	
	午後 3:30~ 5:00	要害・御林地区避難所	要害・御林	1班	2班 能勢鯨太 鈴木恵子 佐藤壮一 岡崎正憲
松ヶ浜地区避難所		松ヶ浜	2班		
5月19日 (日)	午前 10:00~11:30	境山公民分館	境山	3班	3班 鈴木洋市 佐藤信輝 熊谷明美 遠藤喜二
		花渚浜地区避難所	花渚浜	2班	
	午後 1:30~ 3:00	湊浜地区避難所	湊浜	3班	
		菖蒲田浜地区避難所	菖蒲田浜	1班	
	午後 3:30~ 5:00	笹山地区避難所	笹山	2班	
5月21日 (火)	午前 10:00~11:30	汐見台南第二集会所	汐見台南	1班	
		吉田浜コミュニティセンター	吉田浜	1班	

※議会だよりNo.159をご持参願います。
 対象地区以外の方でも参加できますので、都合の良い会場にお越しください。

Instagramはじめました!

七ヶ浜町議会公式アカウントです。
本会議などの活動情報や、町ウェブサイト「七ヶ浜町議会情報」の更新情報などを発信しています。

カメラで読み込むと
アクセスできます→



SHICHIGAHAMA_GIKAI



若き後継者に聞きました

先代であるお父様から会社を引き継ぎ、湊浜で建設業を営んでいる岩本祐樹(右)さんにお話を伺いました。



お父様から会社を引き継がれて何年になりますか。

34歳で代表を引き継いで4年目になります。

若くして会社を引き継がれていますが、ご苦労などはありましたか。

父が、血と汗を流して築き上げてきた会社を背負うプレッシャーは計り知れないものがありました。日々、自分との戦いです。しかし、先代である父や弟が大工として私を支えています。今の私があるのは、この2人がいるからこそです。

先代であるお父様からの教えで最も大切にされていることは。

最も大事にしている教えは「心がけを正せ」という事です。困っている人がいたら手を差し伸べる心優しい人であれ。どんな行動も心が伴っていなければ誠の行動は出来ない。常に素直な姿勢で臨み、心を第一に行動するという事を心がけています。

岩本さんにとって弟さんはどんな存在ですか。

私にとっては、兄弟でありながら良きライバルでもあり、かけがえのない存在です。絶大なる信頼をおける熱い男です。

会社ホームページに『7つ』の約束事が記載されていたりと七ヶ浜に対する愛が感じられます。七ヶ浜の好きなところは。

やはり大自然の海です。素敵なスポットが沢山あります。自然と向き合い、自分と対話することでいろいろな気づきがあります。

七ヶ浜をどんな町にしていきたいですか。

私が生まれ育った大好きな七ヶ浜を多くの人に知ってもらいたいです。私自身も『岩本兄弟チャンネル』で釣りを通して七ヶ浜の魅力動画を配信しているのですが、各地から人が集まる観光地にしたいです。

☆議会を傍聴してみませんか☆

— 6月会議は6月4日開会予定です —

詳しくは議会事務局(TEL357-7435)

または、町ウェブサイト

「町民便利帳」をご覧ください。

<https://www.shichigahama.com>



今回の表紙

今回の表紙は、七ヶ浜中央野球クラブ所属松ヶ浜小学校2年生 渡邊颯一郎さんの試合風景と野球しようぜ!の文字を同クラブ所属亦楽小学校4年生 渡邊潤さんに書いてもらいました。

今年1月、七ヶ浜町で活動していた2チームが合併し、新たに誕生した七ヶ浜中央野球クラブ。女の子も多数所属し、低学年には野球に親しみ試合の楽しさを伝えています。興味のある方は、見学や体験に行ってみてはいかがでしょうか。

発行責任者
議長

安倍 敏彦

副委員長

佐藤 直美

委員

鈴木 恵子

委員

能勢 鯨太

委員

佐藤 信輝

委員

鈴木 篤

委員

熊谷 明美

委員

仁田 秀和

委員

佐藤 信輝

編集後記

春は桜の季節です。大木囲貝塚の「だいき桜」は江戸彼岸と呼ばれる樹齢50年以上になる桜の原種の一つです。日本人と桜の歴史は古く弥生時代から桜は「穀物の神が宿る樹木」として祀られるようになつたと言われています。

縄文土器などが出土している大木囲貝塚が象徴するように、本町は縄文時代から栄える村が点在していた古く歴史の町とも言えます。

この脈々と続いてきた歴史を未来の子ども達に繋げていけるよう、全世代が住みやすい魅力ある町づくりと共に、議会だよりの総意工夫に尽力していきたいと思えます。